

バリアフリーまち歩き点検について(福祉課障害福祉係)

オリパラ基本方針推進調査事業

- ・障害や障害の特性について理解を深めてもらう契機
- ・バリアフリーマップの作成と周知により、「住みやすく優しいまちづくり」を目指す。

■実施日 令和2年10月23日(金) 13:00～17:00

■調査エリア 市役所から大館駅周辺の市街地(聖火リレー通過予定ルートなど)

■参加者 大館市障害者自立・差別解消支援協議会委員、地域に居住する障害者及び市職員等

■内容

心のバリアフリーを知ろう

- ・心のバリアフリー説明
- ・班紹介
- ・障害当事者の体験談
- ・調査の事前説明

まち歩きをしよう

- ・大館市役所から大館駅まで聖火リレー通過予定ルート周辺の調査
(5班編成で、道路・横断歩道、公衆トイレ、公共施設等を点検)

振り返りワークをしよう

- ・フィールドワークの振り返り(意見交換)
- ・グループワーク
- ・各班発表
- ・調査結果講評

ルート



大館市役所本庁舎



大館市役所周辺



ハチ公通り(大町商店街)

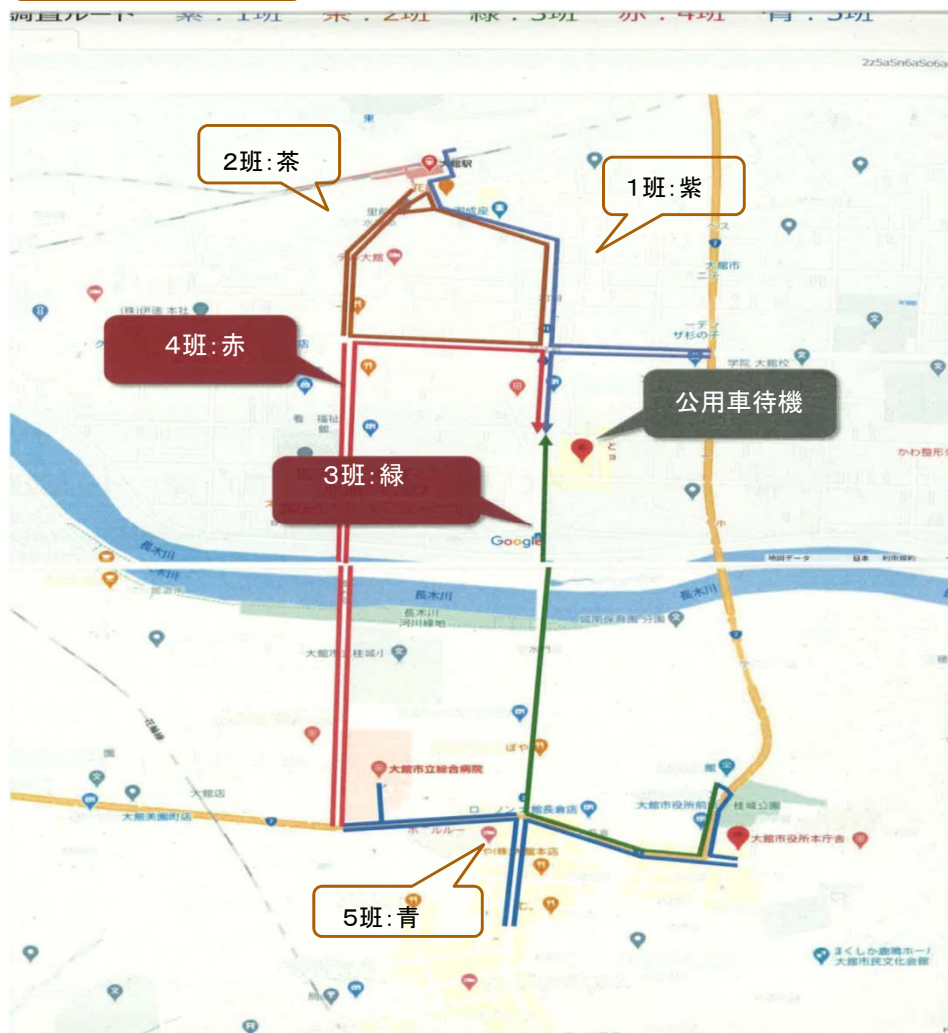


御成町



秋田犬の里

各班のルート



まち歩き点検チェック項目

【施設】

- ・扉、入口付近
- ・受付
- ・施設内通路
- ・多目的トイレ
- ・駐車場、自動販売機 など

【道路】

- ・歩道の幅
- ・勾配
- ・段差
- ・グレーチング
- ・点字ブロック
- ・横断歩道
- ・信号 など

点検した箇所を地図に記録し、写真撮影をする

ワークショップでの意見

1班:大館駅～御成町～有浦交 差点コース

- ・若草ロードのエレベーターや手すりに点字での表記があった。
- ・点字ブロックの途切れや破損箇所があった。
- ・音声式信号機が御成町交差点に設置されていた。
- ・歩道に段差や穴が多い。

2班:犬の里～御成町～大館駅 コース

- ・歩道に段差や亀裂があった。
- ・点字ブロックが劣化している。
- ・観光施設は、バリアフリーになっていたが、車イス用駐車場の近くの扉が、自動ドアでなかった。
- ・グレーチングの隙間が狭く安全。

3班:福祉総合センター～長倉～栄 町～御成町コース

- ・歩道の傾きや段差が多く車イスでの移動が困難。
- ・点字ブロックが劣化している。
- ・大館橋は平坦で歩道の幅もある。
- ・音声式信号機がところどころにあった。

4班:清水町～御成町コース

- ・グレーチングの幅が大きく白杖や車イスのタイヤがはまる。
- ・車道と歩道の段差がかなりある。
- ・点字ブロックが途切れている部分があった。
- ・音声式信号機の音声をもっと長くと渡りやすい。

5班:秋田犬会館～長倉～市立総 合病院～大町コース

- ・公園へ渡る橋は、車イスでは通れない。
- ・スロープの幅が狭く勾配もきつい。
- ・桂城公園内は、障害があっても遊歩道を使える。
- ・みんなのトイレの入りが狭い。手洗い場は、車イス対応になっている。
- ・車イスだと自動販売機の一番上に、手が届かない。

今後のスケジュール

- まち歩き点検報告書の作成
- バリアフリーマップの作成(データ)

R2.10.25新聞記事

障害者らと歩いて点検

バリアフリーのまちづくり

大館市 マップ作成や計画の資料に



東京パラリンピックに向け障害者らが住みやすいまちづくりを進める国の「共生社会ホストタウン」に登録されている大館市で20日、「バリアフリーまち歩き点検」が行われた。障害者と一緒道路や施設の整備状況を点検する初めての取り組みで、市中部を歩き、道路の段差や点字ブロックなどを確認した。点検結果は市が進めるバリアフリーまちづくり計画の参考資料とするほか、来年度のバリアフリーマップの作成を検討している。

点検結果を地図に書き込み、参加者で情報共有し、「心のバリアフリー」をテーマにセミナーも行った。市福祉課の菅原弥生課長は「当事者の生の声を踏まえてバリアフリーマップを作成し、市民に周知していきたい」と話した。

市は昨年10月、本県で初めて共生社会ホストタウンに登録された。タイの事前キャンプ地として、ボッチャと陸上競技の選手団を受け入れ、宿泊施設や競技施設のバリアフリー整備状況を確認した。第2期市総合戦略2024年度の重点プロジェクトの一つが「バリアフリーまちづくり」で、本年度は市としての一体的なバリアフリー化の方針を示す移動等円滑化促進方針(マスタープラン)を作成する。

点検結果を地図に書き込み、参加者で情報共有し、「心のバリアフリー」をテーマにセミナーも行った。市福祉課の菅原弥生課長は「当事者の生の声を踏まえてバリアフリーマップを作成し、市民に周知していきたい」と話した。

市は昨年10月、本県で初めて共生社会ホストタウンに登録された。タイの事前キャンプ地として、ボッチャと陸上競技の選手団を受け入れ、宿泊施設や競技施設のバリアフリー整備状況を確認した。第2期市総合戦略2024年度の重点プロジェクトの一つが「バリアフリーまちづくり」で、本年度は市としての一体的なバリアフリー化の方針を示す移動等円滑化促進方針(マスタープラン)を作成する。

道路の段差などを確認したまち歩き点検(大館市三ノ丸)

や、車いすの通行が難しい高さうち以上の段差がないかなどを確認。点字ブロックが欠けたり、薄くなったりしている場所が多数あり、歩道の傾きや生け垣がはみ出して通行に支障が出る場所も見つけた。音響装置付きの信号機や広さが確保された多目的トイレ、歩道が平らで歩きやすい場所などもチェックした。